



3月4日(土)～5日(日)、朝来中学校体育館で「草野健次の自然体バレー塾」が開催され、梁瀬、朝来の両中学生をはじめ、但馬内の中学生や一般の選手など2日間で延べ150人が受講しました。

草野氏は実業団のバレーボールチーム監督を歴任され、現在、財団法人日本バレーボール協会の公認講師。この塾は同氏が塾長として主宰し、身体に負担をかけたない指導方法の普及のために、全国各地で延べ400回以上開催され、約5万6千人が受講しています。

今回の開催は、朝来中学校の女子バレーボール部の保護者会が主催し、同校PTAや朝来バレーボールクラブの協力により実現したもの。指導ではボールを使った身のこなしやスパイクを打つときの腕の振り、重心移動、腰の回転などをわかりやすく解説。集まった生徒たちは楽しく熱心に受講していました。

草野健次の自然体バレー塾

生野・景観まちづくりシンポジウム

3月4日(土)、生野町口銀谷の但陽会館で「生野・景観まちづくりシンポジウム」が開催されました。

このシンポジウムは『鉱石の道』事業についての情報提供と議論の場を設けることにより、参加者の皆さんに、産業遺産を生かしたまちづくりへの理解を深め、参画のきっかけとしていただくため、「口銀谷の町並みをつくる会」が主催し開催されたものです。

初めに朝来市企画政策課と都市開発課から、『鉱石の道』事業、国県補助金事業の説明があった後、菊池正和氏(岡山シルバー生野総支配人)から産業遺産を活用した観光ビジネスについての説明があり、「観



光のまちとして生野を活かしていきたい」との熱い思いが語られました。

最後に中井武四氏(口銀谷の町並みをつくる会事務局長)から「観光客が心のふれあいのできるまちづくりを展開していきたい」との思いが述べられました。

花いっぱい協会共同育苗作業

3月15日(水)、朝来花いっぱい協会の共同育苗作業が行われました。

花いっぱい協会では、花いっぱいのまちづくりを推進するため、協会に所属する個人や団体が各家庭や公共の場で栽培する花の苗を共同で育てて配布しています。

今回の作業には同協会に所属する団体から10人が参加し、約5800本分のマリーゴールドの種をトレーに蒔く作業と1×2センチに育ったペチュニアの苗3600



本分をトレーからポットに移しかえる作業を行いました。

今回の作業でポット上げされたペチュニアの苗は4月の中旬に受注を受けている会員に配布されます。

スポーツ大会の結果

第35回和田山卓球大会 [3月19日(日)]

【団体の部】

(男子Aブロック)

優勝 ハチ公
準優勝 和田山卓球クラブA
第3位 和田山卓球クラブB

(男子Bブロック)

優勝 朝来市消防本部
準優勝 和田山中学校B
第3位 ホッコクラブ

(女子ブロック)

優勝 和田山卓球クラブ
準優勝 生野卓球クラブA
第3位 ウィンディ

【個人の部】

(男子A)

優勝 長野重成(和田山卓球クラブ)
準優勝 廣田雅章(ホッコクラブ)
第3位 柴本朋輝(和田山卓球クラブ)

(男子B)

優勝 田中和也(ウィンディ)
準優勝 西本和規(THE 和中)
第3位 佐藤清四郎(朝来市消防本部)

(女子)

優勝 守本亜悠未(和田山卓球クラブ)
準優勝 山田梨恵(和田山卓球クラブ)
第3位 宇都宮淳子(生野卓球クラブ)